

薬物治療学要論 I

Elements of Pharmacotherapy I

生命：E1-04312MS

医療科目 3年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 榊山 暁史(薬物治療学研究室)

■教育目的

主な疾患の病態生理の概略を把握し、病態に即した薬物治療選択の組み立てが理解できる能力を養うために、主要な薬物について薬理作用、病態が体内動態におよぼす影響、重要な有害事象などについて学習する。

【卒業認定・単位授与の方針：SD-③、SD-④】

■学習到達目標

1. 代表的な機能検査を列举し、その検査値の異常から推測される主な疾患を挙げることができる(知識、技能)。
2. 内分泌・代謝疾患、悪性腫瘍、造血管疾患、感染症、腎疾患、肝疾患および精神疾患に関して、病態生理の概略を把握し、病態に即した薬物治療の組み立てを理解する。
 - 2-1) 上記疾患の病態生理を説明できる。(知識、技能)
 - 2-2) 上記疾患の治療ガイドラインを読み理解できる。(技能)
 - 2-3) 上記疾患の適切な薬物治療および使用上の注意を薬学的観点から説明できる。(技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：当該疾患に関係する病態生理学や薬理学などの講義資料を復習しておく(30分以上)

復習：講義資料を見ながら課題に取り組む。理解不十分な事項について参考書等を調べる(30分以上)

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	薬物治療学要論 I & II 序論、臨床検査	序論、症候と臨床検査値(肝・腎・呼吸・心臓の各機能検査、血液および血液凝固能検査、各病態別臨床検査、尿・便検査、血液ガス分析、バイタルサイン)	
2	内分泌・代謝疾患 1	内分泌疾患の病態と薬物治療	
3	内分泌・代謝疾患 2	糖尿病とその合併症総論、1型糖尿病、インスリン治療	
4	内分泌・代謝疾患 3	2型糖尿病、経口糖尿病治療薬、メタボリック症候群	
5	内分泌・代謝疾患 4	骨粗鬆症、高尿酸血症	
6	悪性腫瘍 1	悪性腫瘍総論、化学療法薬総論	
7	悪性腫瘍 2	食道がん、胃がん、大腸がん、その他の消化器系がん	
8	悪性腫瘍 3	肺がん、頸頭部がん、脳腫瘍、乳がん	
9	造血管疾患	白血病、骨髄移植、化学療法薬各論	
10	感染症 1	感染症総論、抗菌薬、抗菌薬の耐性、細菌感染症 1	
11	感染症 2	細菌感染症 2、ウイルス感染症、真菌感染症	
12	腎疾患 1	急性・慢性腎不全、血液透析・腹膜透析、腎移植	
13	腎疾患 2・肝疾患 1	ネフローゼ症候群、全身疾患と肝・腎、薬剤性肝・腎疾患	
14	肝疾患 2	ウイルス性肝炎、肝硬変	
15	精神疾患	気分障害、統合失調症、神経症	

■授業分担者

榊山 暁史(No.1～5)、前田 英紀(No.6～9)、花井 雄貴(No.10～11)、望月 靖子(No.12～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験(100%)

■教科書

薬学生のための臨床病態学 南江堂 ISBN：978-4-524-40432-2

そのほか講義ごとに示されることがある。配布物は MY-CAST を活用する。

■参考書

『薬剤師のための疾患別薬物治療法 I～V』 日本医療薬学会 編(南江堂)

『標準医療薬学 薬物治療学』 越前 宏俊・鈴木 考 編(医学書院)